

英 語 科 学 習 指 導 案

日 時	令和5年9月11日(月)	授業会場	1年A組
授業学級	1年B組(40名)	授業者	入間川浩侑己
研究者	入間川浩侑己 Nanami Mimura	柳澤 征之 Chelsea Nsonwu	齊藤 優 唐木澤 竜二 阿部 知之

1 英語科の研究テーマ

目的や場面、状況等に応じて、事実や考え、気持ちなどを伝え合う力を高める学習の在り方

2 単元名・学年 「英語版校歌をつくり、ALTに紹介しよう」・1年

3 単元の目標 ※〔 〕内は、中学校学習指導要領との関連を指している

- (1) 英語版校歌をつくり、ALTに紹介するために、自分で考えた英語表現について、自分の考えや理由を友に伝えたり、相手からの質問に応答したりすることができる。
〔(3)-イ〕

※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料「中学校 外国語」によると、英語の目標は、資質・能力の三つの柱を総合的に育成する観点から、一文の能力記述文で示すことが基本となっているため、本校他教科の学習指導案の単元の目標とは異なる表記をしている。

- (2) 自分で考えた英語表現について、得られた情報や考えを選択したり、吟味したりすることができる。【イ 批判的思考力】

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	イ 批判的思考力
英語科	知 疑問詞“which” ① の表現の特徴やきまりを理解している。 技 自分で考えた英語 ① 表現について、自分の考えを、疑問詞“which”を用いて尋ねる技能を身に付けている。	思 英語版校歌をつ ① くり、ALTに紹介するために、自分で考えた英語表現について、自分の考えを伝えたり、相手からの質問に ① 応答したりしている。	態 英語版校歌をつ ① くり、ALTに紹介するために、自分で考えた英語表現について、自分の考えを伝えたり、相手からの質問に ① 応答したりしている。	新 目的や場面、状況 ① 等に合わせて必要な情報を得たり、自分と友の考えと比較したりして、目的や場面、状況等に合っているか確認しながら、自分の考えをもっている。

5 英語科として、全校研究テーマに迫るための重点1の手立て

- ・メロディー、歌詞の内容や歌詞に込めたい自分の願いなどの考えの視点が明確になるようにメモに整理し、メモを基にやり取りを繰り返す活動を位置付ける。(単元)
- ・友との英語表現の違いに着目し、理由が明確になるようにメモに整理し、メモを基にやり取りする活動を位置付ける。(本時)

6 単元に寄せた教材化

- (1) 単元を貫く問い(単元の学習問題)や単元展開(単元のデザイン)について

本校のALTの一人は、8月から本校に赴任し、週に1~2回ほど本学級の生徒とともに授業を行っている。

ALTは本校の式典や音楽集会に参加した際、なぜ校歌を毎回歌うのだろうかと感じ、実際に音楽の授業を参観した。そこでは、校歌の存在そのものや、学校によって校歌が

異なることに驚き、校歌が学校や生徒たちにとってどのようなものか興味をもった。教師は、英語の授業で校歌に対する文化の違いや ALT がもった疑問について生徒に紹介する。このようなことから、生徒が他国の校歌や国歌に興味をもつと考えた。また、ALT が本校の校歌について知りたいという思いを生徒と共有することで、生徒は、校歌を ALT と一緒に歌いたいと願いをもつと考えた。そして、英語版校歌をつくることで、ALT に校歌をわかりやすく、詳しく紹介したいと考えるだろう。さらに、音楽の授業で校歌を学習した際に、校歌の歌詞の情景をイメージすることを大切にしていたため、ALT に校歌の歌詞の情景が伝わるような歌詞をつくってみたいと意欲をもつことが考えられる。そこで、本単元では、Lesson Goal を「英語版校歌をつくり、ALT に紹介しよう」と設定した。また、単元を通して、メロディー、歌詞の内容や歌詞に込めたい自分の願いなどの考えの視点を獲得し、それらをメモに整理していく。このように、メロディー、歌詞の内容や歌詞に込めたい自分の願いなどの考えの視点が明確になるようにメモに整理し、メモを基にやり取りを繰り返す活動を位置付けることで、英語版校歌をつくり、ALT に紹介するために、自分で考えた英語表現について、自分の考えや理由を友に伝えたり、相手からの質問に応答したりすることができると思った。

また、本単元において、教師は、楽譜に合わせて考えの視点を明確にしなが、自分で考えた英語表現について、メモを活用しながらやり取りを行うことを生徒に提案する。生徒は、校歌の歌詞から考えた様々な表現が出てくるため、それらの英語表現をフレーズごとにメモに整理し（図 1）、考えの視点を色ごとに分けて明確にしていく（図 2）。さらに、様々な視点から Lesson Goal に沿った英語表現をメモの中のシートを動かしながら選択していくことができると考えた。（図 3）。

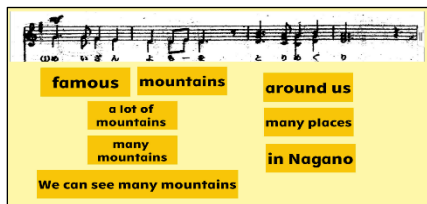


図 1 生徒が使用するメモ 例(第2時)

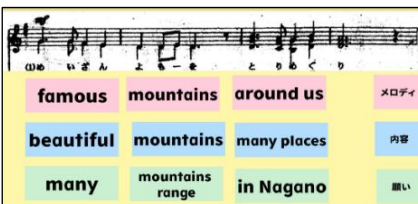


図 2 考えの視点のメモ 例(第3-5時)

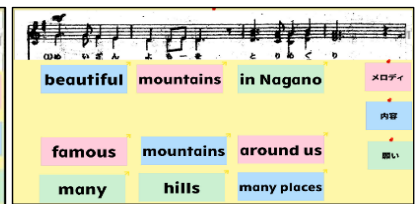


図 3 選択、吟味したメモ 例(第5時)

このようにメモに整理することで、目的や場面、状況等に合わせて必要な情報を得たり、自分と友の考えと比較したりして、目的や場面、状況等に合っているか確認しながら、自分の考えをもつことができると考えた。

また、生徒はグループで一つの英語版校歌をつくる。これまでの学習では、主にやり取りを通して、自分の考えを伝え合う活動をしてきた。よって、やり取りを通して、一つのをグループで決め出すことは、生徒にとって新しい取組である。その中で、ペアやグループでやり取りし、得られた情報や考えを選択したり吟味したりする。このような学習を通して、社会人基礎力の「チームで働く力」の「発信力」、「傾聴力」、「柔軟性」を育成できると考えた。

(2) 本単元と「あさひのプロジェクト」とのかかわりについて

本単元では、【イ 批判的思考力】の育成を目指す。この資質・能力は、主にデザイン思考のステップ5において活用されると考える。

本単元の学びを通して、目的や場面、状況等に応じて、得られた情報や考えを選択、吟味する力が育成される。本単元では英語版校歌をつくるということで、メロディー、歌詞の内容や歌詞に込めたい自分の願いなどの視点を基に表現を考えていくため、音楽科や国語科との教科横断の学びにも生かされる。これは、「あさひのプロジェクト」におけるディスカッションの場面や実生活・実社会の諸課題の解決に向けて、得られた情報や考えを選択したり、吟味したりする場面などで有効であると考えた（表 1）。

表1 「あさひのプロジェクト」における「デザイン思考」と「小さな実践（アウトプット）」

活動に関係するハッシュタグ	【イ 批判的思考力】が活用されている場面の例 ※背景の色は、デザイン思考のステップの段階を示している
#情報発信 #商品開発	アンケートから得られた結果から、相手のニーズを考え、目的に応じた結果を得るために、得られた情報や考えを選択、吟味する。
#地域貢献 #イベント運営	インターネットや自分たちで調べて得た情報をそのまま活用するのではなく、活動するにあたって本当に必要なものかどうか選択、吟味する。

7 単元展開 自分で考えた英語表現について、自分の考えや理由を友に伝えたり、相手からの質問に回答したりする学習

全9時間扱い 本時は第6時

【単元終末の振り返り場面における生徒の記述の例】

- 英語版校歌をつくっていくことで、校歌のよさや大切さについて改めて考えることができました。メモに自分の考えを整理したり、友とやり取りしたりすることで、よりよい表現を選択することができました。グループで英語版校歌をつくって、チェルシー先生に紹介する中で、私は「名山四方」を、“many beautiful mountains”と表現しました。最初は“famous”でしたが、長野県の山々の美しさをチェルシー先生にイメージしてほしいだったので、“beautiful”の方がよいと言っていた友の考えを参考に自分の考えを整理し、段々とよい表現を考えることができました。チェルシー先生に、附中の校歌の情景をイメージすることができたと言ってもらえて嬉しかったです。

段階	○「評定に用いる評価」 ●「学習改善につなげる評価」	評価の観点	時間
	学習活動		
導入	<ul style="list-style-type: none"> Today's Goal「私たちの校歌について自分の考えをALTに伝えよう。」 音楽集会の様子や音楽の授業で校歌を歌っている様子から、ALTがもった、校歌に対する文化の違いや疑問について聞き、ALTに向けて、私たちの校歌について自分の考えを伝える。 	●技 思 態	1
	<ul style="list-style-type: none"> Today's Goal「ALTの考えについて、感想を伝え合おう。」 ALTがもった考えや疑問について聞き、感想をやり取りする。 Lesson Goal「英語版校歌をつくり、ALTに紹介しよう。」を把握し、Lesson Goalへの見通しをもつ。 自分で考えた英語版校歌をメモする。 	●知 技 思 態	2
展開	<ul style="list-style-type: none"> Today's Goal「自分で考えた英語表現について、自分の考えを友と伝え合おう。」 自動翻訳機で訳した英語版校歌を紹介し、感想を伝え合う。 やり取りを通して、whichの表現の特徴や決まりを確認したり、考えの視点「メロディー（第3時）、歌詞の内容（第4時）、歌詞に込めたい自分の願い（第5時）」を獲得したりし、音源を使い、英語版校歌をつくる。 獲得した考えの視点を基に、メモに整理する。 	●技 思 新	3 5
	本時案参照		●技 思 新
終末	<ul style="list-style-type: none"> Today's Goal「ALTに紹介するために、英語版校歌について自分の考えを伝え合おう。」 これまでに獲得した視点を基に、ALTへ私たちの校歌について紹介するために、校歌の歌詞に合う表現について、自分の考えや理由をグループで伝え合い、英語版校歌をグループでつくる。 	○知 技 思 新	7
	<ul style="list-style-type: none"> Today's Goal「ALTに英語版校歌を紹介し、一緒に歌った感想を友と伝え合おう。」 ALTにグループで考えた校歌を理由とともに紹介した後、一緒に英語版校歌を歌い、感想を全体で共有する。ALTの感想をもらう。 Lesson Goalについて、新しく英語版校歌をつくったことについて、内容面と言語面から振り返りを記述する。 	●知 技 ○思 態	8
	<ul style="list-style-type: none"> 後日、「英語版生徒会歌の1フレーズについて、考えを友と伝え合う」についてのパフォーマンステストを実施する。 教師が考えた英語版生徒会歌から、生徒会歌に合う英語表現について、一定の時間内でメモに整理し、メモを基にペアで考えを伝え合う姿を録画する。 	○知 技 思 態	9

8 本時案

(1) 単元名・学年 「英語版校歌をつくり、ALTに紹介しよう」・1年

(2) 主眼

自分で考えた英語版校歌について、自分の考えを友と伝え合う場面で、1回目のやり取りをし、複数生徒の考えの理由を全体で共有し、友との英語表現の違いに着目し、理由が明確になるようにメモに整理した後、メモを基に2回目のやり取りを通して、自分の考えを理由とともに友に伝えたり、友からの質問に応答したりすることができる。(思考力、判断力、表現力等)

(3) Lesson Goal : 英語版校歌を作り、ALTに紹介しよう【話すこと(やり取り)イ】

(4) 本時の位置 (全9時間中 第6時)

前時：これまで獲得してきた視点や歌詞に込めたい自分の願いなどの考えの視点を基に、メモに整理した。

次時：獲得した視点を基に、自分の考えや理由を伝え合い、グループで英語版校歌をつくる。

(5) 展開

段階	活動	予想される生徒の反応	教師の指導・助言	時間
導入	1. 本時の学習の見通しをもつ。	ア メロディーや歌詞の内容、歌詞に込めたい自分の願いなどから、ALTの先生と一緒に歌うために表現をメモに整理してきた。 イ 同じ日本語のフレーズだが表現が違う。メロディーは合っているが、それぞれ表現が違ったりするのはどうしてだろう。友の考えを聞いてみたい。	<ul style="list-style-type: none"> 本時までの学習で、どのような視点があったかを全体で確認する。 校歌の中の一小節を取り上げ、生徒の考えについて生徒とやり取りした後、Today's Goalを設定する。 	10分
展開	2. 1回目のやり取りをし、複数生徒の考えの理由を全体で共有し、友との違いに着目して理由が明確になるようにメモに整理する。	予想される生徒のやり取りの一部 例 A: "Sakikaoru" is "Flowers bloom." B: Why do you think so? A: "Kaoru" means full of smell. This is from meaning. How about you? B: I think "Full of good smell." ウ Cさんは、「長野の山々は美しいから」という理由から、「beautiful」にしていた。理由を明確に伝えた方が分かりやすい。 エ 自分の考えに対する理由が明確になることで、自分の考えについて、友が納得してくれそうだ。 オ Dさんは、校歌の「取りめぐり」の部分を「around us」と英語で表現し、ALTのチェルシー先生に校歌をより身近に感じてほしいという理由だった。私も自分の考えに対する理由をメモに整理していきたい。 カ 黒板に書かれている理由を参考にしながら、自分が考えた校歌に合う英語表現の理由をメモに整理することができそうだ。	<ul style="list-style-type: none"> これまで整理してきたメモを見返し、自分で考えた英語表現について、自分の考えを確認するように促す。 メモを見せながらペアで考えを伝え合うように促す。 複数の生徒に考えた英語表現について理由を尋ね、その理由を全体で共有する。 自分の考えに対する理由を明確にすることのよさを全体で確認する。 全体で共有したこと、友の考えやメモを参考にして、自分のメモに自分の考えに対する理由を整理するように促す。 理由のメモが進まない生徒には、板書されていることを一緒に確認する。 	5分 7分
		予想される生徒のやり取りの一部 例 A: You said "Sakikaoru" is "Full of good smell". This is good for us. B: Why do you think so? A: I think "Full of good smell", I want to tell the scene of this song to Chelsea. B: That's nice. I think this part fits "Full of good smell." But another friend has a different idea. Which is good for us?	<ul style="list-style-type: none"> 全体で共有したこと、友の考えやメモを参考にして、自分のメモに自分の考えに対する理由を整理するように促す。 理由のメモが進まない生徒には、板書されていることを一緒に確認する。 1回目と同じペアで伝え合うように促す。 記録に残す評価はしないが、机間支援をしつつ、自分で考えた英語表現について、自分の考えを理由とともに友に伝えたり、友からの質問に回答したりする生徒の姿を見取っていく。 	15分
	3. 2回目のやり取りをする。	予想される生徒のやり取りの一部 例 A: You said "Sakikaoru" is "Full of good smell". This is good for us. B: Why do you think so? A: I think "Full of good smell", I want to tell the scene of this song to Chelsea. B: That's nice. I think this part fits "Full of good smell." But another friend has a different idea. Which is good for us?	<ul style="list-style-type: none"> 理由のメモが進まない生徒には、板書されていることを一緒に確認する。 1回目と同じペアで伝え合うように促す。 記録に残す評価はしないが、机間支援をしつつ、自分で考えた英語表現について、自分の考えを理由とともに友に伝えたり、友からの質問に回答したりする生徒の姿を見取っていく。 	5分
終末	4. 本時の学習を振り返る。	キ 友の考えを参考に、「good smell」と表現した理由として、「チェルシー先生に校歌の歌詞の情景を伝えたいから。」と考えた。自分の考えを理由とともに相手に納得してもらうために伝えることができた。また、他の友の考えも聞き、チェルシー先生に紹介したい。	<ul style="list-style-type: none"> Today's Goalについて内容面と言語面から振り返るように促す。 自分で考えた表現の理由を伝えるよさや次時への見通しを記述した振り返りを全体で紹介する。 	8分